

ぱーとなー



ひとひと
男と女がお互いに
人権を尊重し

共に語りあい
共に認めあい
共に支えあう

No. **13**

2021年
3月15日発行

発行 さばえ男女共同参画ネットワーク

さばえ男女共同参画ネットワーク 市長と語る会

12月15日(火)

会場：鯖江市役所4階会議室

昨年10月に就任された佐々木勝久鯖江市長を迎えて、さばえ男女共同参画ネットワークは市長と語る会を開催しました。語る会では、男女共同参画の実現に向けて、以下の5つの質問をしました。

Q1 市長として一番取り組みたいこと

市長 コロナ禍の中、まずは市民の生命と安全・安心な生活を守ること、そして地域経済を下支えすることです。

Q2 女性リーダーが活躍できる社会の実現について

市長 女性が意思決定の場に携わる場面、役職に就くことに関しては、男性の理解と協力が必要で、家庭・職場・地域における男女共同参画をより一層進めていきたいと考えています。

Q3 企業のワーク・ライフ・バランス推進に向けた取り組みについて

市長 今後、市内企業における先進的な取り組みの横展開が必要であり、成功事例の発表や交流会などができればと考えています。

Q4 男性の育児休業取得と育児参加について

市長 休暇が取りやすい職場環境整備を企業経営者に呼びかけるほか、夫婦で協力できる環境を作りたいと考えています。また、子育てパパの意見交換会などを計画しています。

Q5 男女の特性、視点を生かした地域防災、防犯について

市長 防災や災害発生時には、男女関係なく瞬時に判断できる人が必要と考えています。また、避難所の設置・運営等には女性に視点が欠かせないと考えており、ご意見を反映できる仕組みづくりを進めていきます。



市長は市議会議員時代から「男女共同参画推進」をライフワークとして取り組まれており、さばえ男女共同参画ネットワークの活動にも理解を示され、質問に対して丁寧に説明をいただきました。一人一人が平等に発言や発信ができる豊かな生活を、新市長と手を携えて、実現に向け頑張っていくとの思いを共有できた有意義な会でした。

さばえ男女共同参画ネットワーク研修会（人権講演会）

令和3年2月14日(日)

演題：いのちのメッセージ ～生かされていると気付いた日々～

会場：嚮陽会館 多目的ホール

今年度の人権講演会はコロナ禍による日程変更もありましたが、十分な感染対策をとりながら、岩崎先生のご自宅と会場を繋いで、リモート講演の形で開催されました。



人権の根本である“いのち”について、夫の闘病を家族で見守り、看取るまでのなかで感じたこと、家族間・親子間での出来事や思いを語っていただきました。3人のお子さんと一緒に悲しい現実を受け止め、そして大変な思いをしたからこそ、人は生きているのではなく生かされていると気付けたこと、夫とのかけがえのない時間から受け取れた「人を助ける＝人に寄り添う」という人権の原点である“いのち”のメッセージを大切にされているのが伝わってきました。私達が“生かされている”ことへの「感謝」を改めて感じる事ができる、素晴らしい講演でした。

講演会終了後には、ネットワーク朗読劇のYouTube動画完成披露が行われ、コロナ禍であっても形を変えて、多くの方に関わっていただける取り組みを示せた貴重な機会となりました。



いのちの講演家
岩崎順子氏

第5次鯖江市男女共同参画プランがスタート

鯖江市では、ともに生きともに活躍できる社会を目指して、2020年度から第5次男女共同参画プラン（計画期間：2020-2024）がスタートしています。

本プランでは、「SDGs目標5 ジェンダー平等を実現し、女性が活躍しやすいまちづくりの推進」を基本理念として、市の各種施策や事業を着実に実施・推進していくとしています。

また、2015年に「女性活躍推進法」が制定されたことから、女性活躍推進計画が組み込まれ、次の2つの項目を柱とした内容となっています。

男性の理解と意識改革の推進

職場や地域など、あらゆる分野において根強く残っている男性優遇の風習や社会通念を取り除き、男性の意識の改革をさらに進めていきます。また、家事の役割分担を見直す場を提供したり、父親参加型事業などで男性の育児参加を進めたりしながら、男性が家事・育児に参画できるよう取り組んでいきます。

女性の参画意欲の向上

社会で活躍していきたい女性が、希望する生き方を選択し、その能力を十分に発揮できるようにするため、女性へのエンパワメント支援、創業および再チャレンジ支援、健康支援などを進めると同時に、男女が共に働きやすい職場環境の整備に取り組んでいきます。

男女共同参画ネットワークにおいても、市の第5次男女共同参画プランの目標達成に向け、組織力を生かしながら、今後も市民への啓発活動を進めていきます。

第5次鯖江市男女共同参画プランのイメージ図

男女共同参画社会の実現に向けた各種施策

女性が活躍しやすい社会に向けた主な事業

男性の理解と意識改革の推進

- ・家事シェアプロモーション事業
- ・多様な働き方導入推進事業
- ・ワーク・ライフ・バランスの周知・啓発

女性の参画意欲の向上

- ・インポスター症候群ゼロ運動
- ・わたしの日プロジェクト
- ・子育てサポーター養成講座など、



第5次鯖江市男女共同参画プランの詳細は、鯖江市ホームページから見るすることができます。

市では、第2期鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略において、横断的な取組として「持続可能な開発目標（SDGs）の推進」を掲げています。そのSDGs 17の目標のうち、目標5「ジェンダー平等の実現」「女性活躍推進」が17すべての目標達成の礎となると考え、経済・社会・環境の3側面に好循環と相乗効果を生み出し、一人一人がいきいきと暮らせるまちづくりを目指しています。



さばえ男女共同参画ネットワーク 朗読劇「鯖さん一家 ～コロナ禍の手探り挑戦～」

さばえ男女共同参画ネットワークでは、毎年、男女共同参画の啓発のために「朗読劇」を発表しています。今年度は、「鯖さん一家 ～コロナ禍の手探り挑戦～」と題して「コロナ禍で仕事が休業になったり、在宅ワークになったりなど、家族がいつも以上に家の中にいる光景での男女共同参画ってなんだろう？」を考えて作成しました。

また、コロナ禍により鯖江市内の地区・町内や団体の皆様に披露することが困難なことから、YouTubeにて配信をすることになりました。是非、夢みらい館・さばえのHPからご覧ください。



「国際女性デー」横断幕作成しました!

みんなが輝ける世界へ! さばえ男女共同参画ネットワーク
3月8日は国際女性デー

1904年、ニューヨークで婦人参政権を求めたデモが起源となり、国連によって1975年に3月8日を、「国際女性デー」として制定されました。

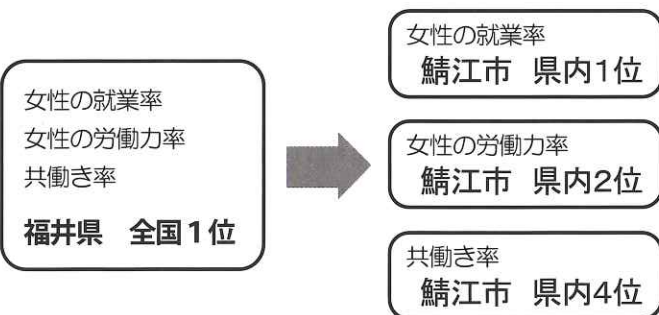
制定当初は女性の社会進出という政治的な意味合いが強かった国際女性デーです。

「国際女性デー」横断幕は、3月1日から1ヶ月間、鯖江市役所正面に設置されます。是非、皆さん自身や周囲の女性の日頃の頑張りを褒める、周囲の男性へ感謝するきっかけにしてみてくださいはいかがでしょうか。鯖江市役所に行かれる際をご覧ください。

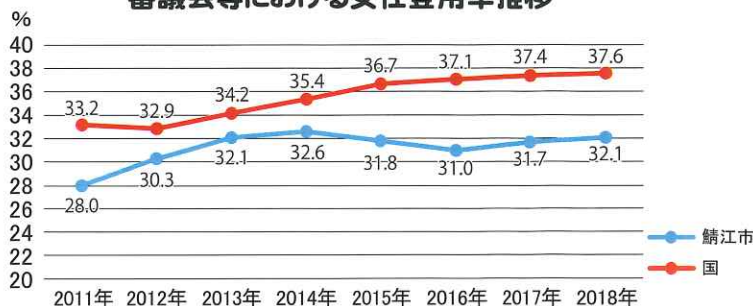
ミモザの花：イタリアでは「国際女性デー」を「ミモザの日」と呼んでいます。

～鯖江市の現状は?～ (第5次鯖江市男女共同参画プランから抜粋)

女性の社会進出の指標となる女性の就業率、労働力率および共働き率に関して、福井県は全国1位となっています。その中でも鯖江市は上位に位置していますが、審議会等の女性登用率は横ばいの状態であるなど、意思決定の場における女性の参画が進んでいないのが現状です。



審議会等における女性登用率推移



資料：総務省「2015年国勢調査」

資料：内閣府男女共同参画局「国の審議会等における女性委員の参画状況調べ」

ふくいきらめきフェスティバル 2020

「テーマ：みんなの力で地域を元気に
～肌で感じよう自信と誇りのふくい～」

今年のふくいきらめきフェスティバルは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、坂井市をメイン会場、響陽会館などをサテライト会場として開催されました。響陽会館にはメイン会場の映像が同時配信され、約100名が参加しました。

記念講演「コロナ×女性・地域の可能性」では、浜田敬子氏が「今をどう生きていくか」をAERA編集長等の経験から具体的に示されました。「変わるのはいやだ!」ではなく、「変化を楽しみ、やってみる」「挑戦は何歳からでもできる」ということを学びました。

また、鯖さん一家の朗読劇も好評で、参加者の方々にはコロナ禍で気付かされた家族協力の大切さを笑いと共に感じていただきました。

※ふくいきらめきフェスティバル 2021は、6月19日(土) ユー・アイふくいにて開催されます。

11月8日(日)

メイン会場：

高椋コミュニティセンター(坂井市)

サテライト会場：

響陽会館(鯖江市)

パレア若狭(若狭町)



仕事と暮らしのグッドバランス！

ワーク・ライフ・バランス賞

2個人・2事業所が受賞

市では、男女共に働きやすい職場を目指し、ライフステージの変化にも柔軟な取り組みを行っている企業・団体、仕事・家庭・地域活動・趣味など生活のバランスを図りながらいきいきと輝いている個人を表彰しています。令和2年度は2個人・2事業所の受賞が決定しました。



西野 有香さん (下氏家町)

親子参加型イベントの開催や子育て仲間の交流サイト「さばえ☆子育てコミュニティ」の立上げ、親子支援活動拠点「おもちゃ図書館プチ」の開設など、親子が安心して楽しみ学べる時間と居場所づくりをしている。県人権教育講師や防災士、防犯隊としての活動も積極的に行い、「全国OCサミット in 鯖江 2020」では実行委員長を務めるなど、育児・家事・仕事のバランスを図りながら全力で活動している。



坪内 啓正さん (糺町)

昨年9月2週間の育休を取得。妻の負担を軽減できるよう心掛け主体的に家事や育児に取り組み、上の子供たちと関わる時間も大切にして家族協力での充実した育児生活を過ごす。県内医療機関の診療放射線技師として働きながら、大学院社会人コースの学生として医療研究にも取り組み自己研鑽を続ける一方、家族との時間を優先しつつ、趣味や医療ボランティア活動にも前向きに取り組み、楽しみながら生き生きと活動している。



株式会社ポストクラブ【業務内容】眼鏡デザイン企画、販売 (三六町1丁目)

従業員の約半数が女性。女性目線での商品開発を行うほか、人材育成や能力向上に力を入れ、女性が復職しやすい体制づくり、男性の育休取得の推進、個人に合わせた働き方にも柔軟に対応している。職場にスタッフの休憩室やシャワールームを備えるほか、ランチ会の企画でスタッフ同士のコミュニケーションを図るなど、よりよい職場環境づくりに取り組んでいる。



福井県民生活協同組合【業務内容】宅配、店舗、介護・保育事業 (第2地区本部：小黑町2丁目)

「女性のつどい」開催など、働く女性の意識向上と情報共有ができる体制づくりを実施。「イクボス宣言」により職員のワーク・ライフ・バランス実現に向けた取り組みを推進し、「プラチナえるぼし」・「プラチナくるみん」の2つを全国初で取得。男性職員の子育て休暇の取得促進の取り組み「ベビー休暇制度」を導入するなど、従業員の働きやすさや働きがいを重視した独自の取り組みを実践している。

令和2年度 さばえ男女共同参画ネットワーク役員名簿

役職名	団体名	理事名
会長	鯖江地区人権擁護委員会	齋藤 啓子
副会長	夢みらいWe	中宮 正信
	(認特)さばえNPOサポート	八田 登師男
会計	鯖江市区長会連合会	小嶋 重治
	鯖江市愛育会	水嶋 栄子
事務局	夢みらいWe	内藤 雅子
	鯖江地区人権擁護委員会	黒田 正知
理事	鯖江市連合女性会	山崎 恭子
	JA福井県女性部たんなん支部	齋藤 由美子
	退職公務員連盟鯖江支部	熊野 儀一
	鯖江市母子寡婦福祉連合会	小林 比呂美
	福井県民生活協同組合	友田 明宏
	鯖江市赤十字奉仕団	吉川 邦子
	鯖江市やんしき保存協会	坪内 利正
	鯖江市民生委員児童委員協議会連合会	青山 幹夫
	鯖江市壮年グループ連絡協議会	山内 稔
	鯖江市PTA連合会	岩原 義明
	(認特)エコプラザさばえ	友永 美千代
	青少年健全育成鯖江市民会議	熊野 悦子
	一般	鴨池 恒子
	一般	小松原 俊和
監事		笹川 善弘
		牧田 治子
顧問		高島 建夫

令和2年度 活動報告

※印 提案型市民主役事業

月 日	事業内容	開催場所
4月 25日(土)	さばえ男女共同参画ネットワーク総会	中止(書面表決)
7月 7日(火)	第1回理事会	夢みらい館・さばえ
9月 8日(火)	第2回理事会	夢みらい館・さばえ
10月 15日(木)	第3回理事会	夢みらい館・さばえ
11月 8日(日)	ふくいきらめきフェスティバル 2020 鯖江会場 メイン会場からライブ中継参加 約100名参加 朗読劇『鯖さん一家 “コロナ禍の手探り挑戦”』発表 おおい町との意見交換会 さばえ男女共同参画ネットワーク 22名参加 おおい町男女共同参画推進会議委員会 11名参加	鯖江市嚮陽会館 多目的ホール
12月 7日(月)~ 12月 8日(火)	市議会傍聴参加	鯖江市役所
12月 15日(火)	「市長と語る会」 延べ11名参加	鯖江市役所
1月 18日(月)	※朗読劇『鯖さん一家 “コロナ禍の手探り挑戦”』 ユーチューブ収録	夢みらい館・さばえ
2月 14日(日)	人権講演会：いのちのメッセージ 44名参加 ～生かされていると気付いた日々～ 講師：岩崎順子氏 ※ネットワーク朗読劇ユーチューブ完成披露	嚮陽会館多目的ホール
3月 3日(水)	第4回理事会	夢みらい館・さばえ
3月 15日(月)	※情報紙「ぼーとなー No.13」発行	

あ と が き

今年度の活動は、コロナ禍で制限される環境下で、感染予防に気を付けながら実施してきました。

例年と違う形の活動となりましたが、更に女性と男性が共に明るく地域社会と本人の自発性による男女共同参画社会の必要性を感じる1年でした。新型コロナウイルス感染症の早期収束を願っています。



※この情報紙は、(公財)ふくい女性財団からの助成を受けています。